

このページでは、避難生活での疑問や、除染・補償・賠償に対する質問にお答えします

ご協力ありがとうございました
4月17日 飯館村役場飯野出張所
行政区懇談会でお聞きしました



佐藤正一さん(八木沢・芦原)

(質問) 村としての拠点作りは大切だと思いますが、拠点以外の計画はどうなるのでしょうか。各行政区の特性を活用する計画は作られるのでしょうか。

(回答) 昨年行われた「行政区地域づくりワークショップ」では、行政区ごとの特性や現状に合わせた話し合いが行われ、その結果が「いいたてまでいな復興計画第4版(案)」の後半部分「第2部行政区計画編」にまとめられました。村では、この結果をもとに行政区のニーズをつかみ、今後どのような支援策が効果的かをまず検討してまいります。

第4版(案)については、現在、行政区懇談会の中で説明や質疑応答を行っており、6月議会での成案化を目指しています。その後引き続き検討される第5版の中では、拠点作りや各事業の具体化をさらに進めながら、地域計画の具体化、実現への課題検討等も発展させてまいります。

除染が遅れる長泥行政区をはじめ地域間には状況の違いがあります。また地域ごとの特性もある中で、有効に機能する支援策の検討が必要です。時間はかかりますが、村は地域再生に向けても努力を続ける方針です。



武藤とも子さん(関沢)

(質問) 復興公営住宅に申し込みをしたいと思いますが、それぞれ要件や優先順位があると聞きます。また入居後、村内に作られる公営住宅に再度申し込むこともできるのでしょうか。

(回答) 現在申し込みを受け付けている復興公営住宅の入居条件や優先順位は以下の通りです。

【村の復興公営住宅「飯野町団地」】

- 平成23年3月11日時点で飯館村民であること。
 - 入居申込者及び同居するものが暴力団員でないこと。
 - 村外に持ち家がないこと。
 - 子育て世帯であること。(①平成26年9月1日時点で中学生以下の子がいる世帯 ②原則として村内の幼小中学校に入園入学しているまたはできる方)
 - 村税等の滞納がないこと。
- ※資料請求等は ☎村建設管理係 0244-42-1624にお問い合わせください。村内に建設する公営住宅にも入居条件等を設けることとなりますが、基本的には飯野町団地に入居後も申し込みは可能です。

【県の復興公営住宅】

- ・第1期募集団地：福島市「北信団地20号棟」「笹谷団地8・9号棟」
 - 平成23年3月11日時点で飯館村に居住していた方。
 - 1階部分に設けられる「優先住宅」は、75歳以上、一定以上の障がいのある方または一定以上の介護が必要な方を含む世帯のみの申し込みとなります。
 - 平成26年4月1日現在18歳未満の子または妊婦を含む世帯は、「優先住宅」を除き当選確率が5割増しとなります。
- ※県の復興公営住宅については ☎県復興公営住宅入居支援センター 024-522-3320にお問い合わせください。入居後に県の他の復興公営住宅に申し込むことは原則的にできませんが、村の公営住宅等に入居する等の理由で退去することは自由です。

それぞれ申し込み期限が5月30日までとなっておりますので、申し込みをされる方は資料請求をお急ぎください。



雀孝行

お釈迦様が病気の時、雀はすぐに駆けつけだんだ。燕はお化粧だのして出掛けで行ったから、ちよつと遅くなったんだ。早く行った雀は米もらって、後から

行った燕は虫くられらつちやんだ。んだが、雀は米食わつちえ、燕は虫捕って食わねつかなんねえんだ。



「話者/高橋スギノさん
いいたて民話の会発行
「飯館むかしばなし」から転載」

〈お詫びと訂正〉

広報いいたて4月号の記事に誤りがありました。村から課から係からの「ほけんつぶくしのページ」で紹介した「むし歯ゼロの子表彰式」の記事(P18)の表彰者名簿にある岡部心羽ちゃんの振り仮名が、誤って「おかへみゆ」となっておりますが、正しくは「おかへみゆ」です。また、表彰対象の期間が「平成25年3月から平成26年2月の間」となっておりますが、正しくは「平成25年3月から平成26年1月の間」でした。訂正してお詫び申し上げます。



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
仁科 涼空くん	貴文・真澄	佐須
鹿山 桜子ちゃん	真史・芙希子	深谷
須藤 聖愛ちゃん	遼真・梓	比曾

すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名	出身地
鈴木 拓也 中井田 佑実	南相馬市 大倉
遠藤 翼 斎藤 志織	前田・八和木 川俣町

いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
星 光雄	86	前田・八和木

ご冥福をお祈り申し上げます

(3月21日から4月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

5月号より新しく広報担当となりました。今年度も2人体制でお届けしますので、皆さんの声をたくさんお聞かせください。村民のみなさんの思いをしっかりと聞き、しっかりと伝えていきます。▽4月になり、いろいろな場所で花が咲き誇っていますね。慌ただしく過ぎてしまいがちな日常ですが、花を見て心が動くような時間・生活の彩りを見つけて、生活の大切さを改めて実感しました。▽この時期の雨は、二十四節氣のひとつ、「穀雨」と呼ばれます。雨が降って地が固まるように精一杯努めてまいります。▽今年度の「広報いいたて」をどうぞ、よろしくお願致します。(木幡)